

# 雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

## 「主体的・対話的で深い学び」を通して



### 教師の授業力向上のための研修

5月30日(木) 保健体育科指導員訪問

講師:鈴木 善博 先生(梅園小学校)



授業参観をした教員による研究協議会

5月30日(木)、2時間目、2年生女子が、学習課題「自分たちの動きから弱点を見つけ、克服しよう」を設定し、意欲的にバドミントンに取り組みました。授業開始前の集合の姿、はじめの「お願いします」の挨拶も立派でした。松山衣里先生と生徒との信頼関係が築かれていることが伝わる授業でした。生徒がバドミントンを楽しみ、グループ活動を通して技術を向上させていきました。

#### 保健体育科指導員の鈴木善博先生からのご指導

- ・昨年、中学校1年生の時も、松山先生が保健体育科の授業を公開しました。その時、とてもよい雰囲気での授業であったことを覚えています。今回も、生徒の目が輝き、生き生きと活動している姿を見ることができました。保健体育科の授業を楽しむことが一番大切です。そういう意味で、生徒が意欲的にバドミントンに取り組んだことに価値があります。
- ・今、「**主体的・対話的で深い学びのある授業**」が求められています。「主体的」にするには、生徒が学習活動に見通しをもつことが大切です。「対話的」にするには、グループ活動の中で、仲間のプレーについて話し合う場を設定することが大切です。その際、自分のプレーと仲間のプレーを比較したり、共通点を見つけたりすると、自分のプレーのよさ、弱点に気づくことにつながります。「深い学び」にするには、弱点の原因を見つけ、その原因を克服するにはどうしたらよいかを考えさせる場を意図的に設定するとよいと思います。
- ・自己評価、他者評価、教師による評価を関連させて、生徒に明確な目標をもたせ、目標を達成するための対策を考えさせると、もっと生徒が主体的に活動していくと感じました。

### 熱気に満ちた平成30年度第1回額田中学校生徒総会 6月1日(金)

委員長の提案に対して質問、意見等が出されました



提案に対して承認できる生徒の挙手人数を確認する級長



平成30年度第1回額田中学校生徒総会が、5時間目を実施されました。生徒会役員、各クラスの級長、各委員会委員長が中心となって、生徒総会を価値あるものにしました。まず、生徒会長が、「平成30年度の各委員会の活動計画に対しての提案と質疑応答をします。生徒の皆さんは真剣に聞いて、質問してください」と話しました。議長が、自治、体育、保健、厚生、緑化、図書、美化、給食、環境委員会委員長に年間計画の提案を促しました。この生徒総会のすばらしかったことが、3つあります。1つ目は、提案者の発表が堂々としてわかりやすい説明であったこと。2つ目は、その提案を聞く態度に真剣さがあったこと。3つ目は、提案に対して質問、自分の考え等を発表する生徒が多かったこと。環境委員会が、「アルミ缶回収活動、草取りをしっかりとやります」と活動計画を提案すると、「学校に入って目につくのは、3年生前の花壇と通路です。ここの草取りを自分から進んで実施して、だれもが美しいと言ってくれる学校にしたい」と語りかけました。全校生徒212名が力を合わせ、「挨拶の額中」「合唱の額中」だけでなく、新しい額中の伝統を築いてほしいと思います。

## 校内美化に努力する3年生に感謝



体育館への通路がきれいになりました

## 食堂周辺がきれいになりました

5月29日(火)



3年生が食堂周辺の池の中をきれいにし、校務員のIさんが草刈りをしてくださり、とてもスッキリとした環境になりました



## 凡事徹底が本物の力となります。学校生活すべてで凡事徹底を



靴のかかところがそろっている下駄箱



平成30年度4月から給食の牛乳パックのリサイクルの実施

伸びる学校は、毎日の清掃活動に真剣に取り組める生徒がいる学校だとよく言われます。生徒の清掃活動を見れば、生徒の実態がいろいろとわかってきます。今、3年生が、校内の汚れた所に出かけて、きれいになるまで清掃活動に取り組んでいます。素直で、きれいになるまで努力しようとする心があります。一生懸命に作業に取り組む姿に、心が洗われます。本当に素敵な3年生です。伸びる条件の「**努素心舌**」をもった生徒だと思います。これらの生徒のおかげで、体育館への通路、食堂周辺がとてもきれいになりました。学校全体を見渡して、汚れた所を見つけて、自分から進んで清掃活動ができる生徒に育ちつつあります。これが、「**主体的・対話的で深い学び**」のできる生徒の姿だと思います。

また、生徒の出欠席の状況を把握する方法の一つは、下駄箱を見ることです。下駄箱の靴のかかとの様子を見ると、今の生徒の精神状態が見えてきます。毎日、使う下駄箱が、きれいに清掃され、靴がきちんとそろっている学校は、落ち着いた学校だと判断できます。現在の額田中学校の実態をつかむ方法の一つは、毎日、下駄箱を観察することです。さらに、毎日の給食活動も生徒を伸ばすチャンスです。給食の配膳時間が、4月と比べて本当に短い時間でできるようになってきました。クラスの仲間が声を掛け合って、協力している証拠です。平成30年度4月から、牛乳パックのリサイクルを始めました。飲み終えた牛乳パックを手で開いて、グループごとに集め、容器に入れ、水に浸します。清掃時間に担当の生徒が、開いた牛乳パックを水洗いして干します。翌日、乾いた牛乳パックを青色のネットに入れます。なかなかめんどうな作業ですが、生徒は責任をもって牛乳パックリサイクル活動に前向きに取り組んでいます。この毎日の地道な活動が、きちんとできるところに価値があると思います。「**当たり前のことを徹底してやること**」で、**本物の力**になっていくと確信しています。学校生活すべてで「**凡事徹底**」を意識させたいと考えています。